財産管理

私の視点「なぜここを質問したか」

未利用の町有地が至る所にあり、草刈りなどの管理経費等を考えると売り払うのが得策である。地域の景観なども解消されるのではないか。

未利用町有地の有効活用を

白水（しろうず） 英至（えいじ） 議員

答弁（町長） 適切な時期の処分につなげたい

録画配信はこちらから ▶

問 売払代金収入や固定資産税の増収など計り知れない効果があると思うが、有効活用できる町有地の数と資産価値は。

答 管財課長

有効活用できる町有地は68件、総面積は9万9118平方メートル。資産価値は約14億6700万円。そのうち未利用の土地は19件、総面積は3万7386平方メートル、資産価値は2億2300万円。

問 未利用町有地の年間管理経費は。

答 管財課長

草刈り業務を中心に年間約89万円。その他隣接者からの要望により雑木林の剪定・伐採が一時的に生じている。

問 ホームページなどを使った町有地の売却は。

答 管財課長

公募による公売の際は、案件ごとにホームページに掲載し、募集している。

問 個人宅に隣接している狭くて歪な形の町有地の売却や譲渡はできないか。

答 管財課長

財産を処分する場合は、公募による公売が原則。ただし、狭小地は、隣接者が建物を建て替える際や土地の転売処分が行われる際に、年間数件の売却処分を行っている。

譲渡は、原則として地方自治法第96条に基づき議会の議決を要し、公正公平性に疑義が生じないよう慎重な判断が必要であるため、現状は行っていない。

問 町有地の雑木林などを造成して宅地として売却をしてはどうか。

答 管財課長

造成の目的、市場の需要、採算性などを鑑みると、町が先行的に造成を行うことは適しているとは言い難い。現状有姿で処分を進めるのが適当と捉えている。

問 昭和町町営住宅跡地利用は。

答 管財課長

大半を資材置き場として貸し付けているが、今後は売却した上で、活性化を図ることが適当と捉えている。次年度から順次売却処分を行っていく予定。

問 未利用町有地の売り払い処分により経済効果なども見込まれるが、町長の見解は。

答 町長

町の活性化のため、周辺民有地と一体的に利活用されることが望ましい。

多方面にアンテナを張り、適切な時期の処分につなげていきたい。

有効活用が期待される未利用町有地

質問を終えて

財政が厳しい中、未利用の町有地を売り払って経済効果を優先すべきである。

窓口対応

私の視点「なぜここを質問したか」

役場の窓口対応が明るく、相談しやすければ、町民も安心して生活することができる。宇美町に住み続けたいと思うことにつながるような窓口対応について問う。

職員の笑顔あふれる窓口対応を

髙橋（たかはし） 紳章（のぶあき） 議員

答弁（町長） 職員の笑顔とあいさつの徹底

録画配信はこちらから ▶

問 窓口対応の状況（感謝、苦情など）は。

答 総務課長

窓口対応の苦情は過去2年で7件。内容は説明が分かりにくいなどである。また、感謝は迅速、的確な対応をしていただいたなど。

問 感謝や苦情があった時の対応は。

答 総務課長

感謝の言葉をいただいた時には、好事例として全職員に周知。

苦情についてはどこに問題点があったのか、説明は適切だったのかなどを検証し、次に生かせるよう改善策の打合せを行っている。

問 窓口対応の指導・教育は。

答 総務課長

職場の上司や先輩が仕事を通し、必要な知識・技術・態度などを計画的・継続的に指導し習得させる教育と庁外研修の活用。

新規採用職員には、粕屋南部消防組合での規律訓練や市町村職員研修所での採用職員研修に参加させている。

問 町民の満足度を高めるための取組は。

答 総務課長

用件を正確に把握し、丁寧かつスムーズに対応するため、総合案内を設置。また、住民の導線を第一に考えた窓口カウンターの最適化や受付番号札発券システムの導入など町民の満足度を高める取組を行っている。

問 職員間のコミュニケーション・情報共有は。

答 総務課長

必要に応じて随時、窓口調整会議を行うなど、来庁者をスムーズに案内できるよう情報共有を行っている。

また、質の高い行政サービスを提供するために、部署間の連携や職員間のコミュニケーションが取りやすい環境整備を行っている。

問 町長が考える笑顔あふれる役場づくりとは。

答 町長

まずは、働く職員同士が大きな声であいさつをし、笑顔にならないと、町民の皆さんも笑顔になるはずがない。

あいさつ・笑顔は職員である前に社会人としての基本だと私は思っている。引き続き、指導を徹底していく。

始業前の朝礼風景

質問を終えて

大きな声でのあいさつや笑顔あふれる役場づくりが実現すれば、人口増にもつながると考える。